

いなづま

題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 龍文堂印刷株式会社



函館ハリストス正教会と花火

ご挨拶に先立ち、八月十五日ご逝去されました日興電気㈱代表取締役 林一夫氏、九月八日ご逝去されました(有)日光電気代表取締役 久保博義氏、お二方の永年に亘る組合運営等のご協力に心より感謝申し上げると共に、ご冥福を申し上げます。特に林一夫氏におかれましては、組合の理事及び中央支部長として常に発展的な意見を役員会で述べられ今後の組合組織の上でも必要な方であります。又、平成二十二年九月に開催される全日電工連の全国大会も控えており、私自身も大きな期待をしており大変残念でなりません。しかし我々役員一同ただ悲しんでばかりではいられません。ご遺族には勿論、日興電気㈱さん、(有)日光電気さんに組合としても出来る限りのご協力とご支援をさせて頂きたいと考えております。

前回の『いなづま記念号』にも掲載致しましたが、当組合創立六十周年記念式典を無事に終了する事ができました事を心より感謝申し上げます。又、組合年間行事の大レクリエーション大会は素晴らしい天候に恵まれ、盛会のうちに終わることができました。しかし八月の函館の大イベントの港祭り『ワッショイはこだて』は多数の参加申込や山車の製作にもご協力頂きましたが、あいにくの雨天のために中止となりました。来年は新しい山車での参加を予定しておりますのでまた多數のご参加とご協力をお願い申し上げます。尚、今年度の残された事業は、十一月よりイルミネーション取付工事があります。日程が決まりましたら改めてご案内を差し上げますので宜しくお願い致します。

今年も残り数ヶ月になりましたが、まだまだ我々建設関連業種は大変厳しい環境にあり苦慮しているのが実状だと思います。お互い協力出来ることは知恵を出し合いこの難局を乗り切っていきたいと思つております。終わりに残暑厳しい今日この頃、皆様各企業のますますのご繁栄を心よりご祈念申し上げご挨拶とさせて頂きま

理事長 佐藤征次

ご挨拶

い　な　づ

- 五、技術委員会事項

(1) 二級引込線工事士安全技能講習会の実施結果について

(2) 第二種電気工事士試験（学科）準備講習会の実施結果について

(3) 高所作業車運転技能講習の実施結果について

(4) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の実施について

(5) 安全大会の実施について

六、事業委員会事項

(1) 函館港まつり「ワッショイはこだて」の参加について

七、第三回役員会

一、慶弔報告

日興電気株代表者逝去

二、貸付報告

四社一三〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 六〇周年記念式典の收支報告について

(2) 第十六回大レクリエーションの実施結果について

(3) 組合脱退の申込みについて

(4) 商工中金の民営化に伴う出資金の株式への変換について

(5) 全日電工連全国大会への参加について

五、技術委員会事項

(1) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の実施結果について

(2) 函館工業高校電気科生徒のインターネット・シップ現場実習受け入れ実施結果について

安全大会の実施結果について

二級引込線工事士安全技能講習会の実施結果について

組合行事

- | 組合行事 | |
|-------|---|
| 3月17日 | いなづま編集会議 |
| 3月21日 | 中渡島支部会議 |
| 4月3日 | 東支部会議 |
| 4月4日 | 検満業者打合せ会議 |
| 4月10日 | 八雲支部総会（徽温泉） |
| 4月11日 | 青年部通常総会（ホテルテトロ）
名受診) |
| 4月14日 | 定期健康診断の実施（組合会議室Ⅱ二三九
クリ一三三名） |
| 4月16日 | 第一種電気工事士定期講習（ベルクラシック
労働保険更新手続（組合会議室） |
| 4月22日 | P C B処理説明会（組合会議室Ⅱ五〇名受
赤川支部会議 |
| 4月23日 | 道工業組合期末監査、役員会に佐藤理事長、
伊東副理事長出席（道電気会館） |
| 4月24日 | 正副理事長・総務委員会合同会議
第一回員会
赤川支部会議 |
| 4月25日 | 中渡島支部会議 |

- | | |
|------|-------------------------------------|
| 5月7日 | 検満業者打合せ会議 |
| 9日 | 北電函館支店関連工事安全協議会に酒井副理事長出席（北電函館支店） |
| 12日 | 北支部会議 |
| 13日 | 会計期末監査 |
| 14日 | 東支部会議 |
| 15日 | 赤川支部会議 |
| 全日 | 検満業者打合せ会議 |
| 20日 | 中央会道南支部役員会、総会に佐藤理事長出席（ホテル函館ロイヤル） |
| 全日 | 中渡島支部会議 |
| 23日 | 第六〇回通常総代会（組合会議室） |
| 全日 | 組合創立六〇周年記念式典（花びしホテル二二三名） |
| 29日 | 厚生年金基金理事会に佐藤理事長出席（道電気会館） |
| 全日 | 道工業組合役員会に佐藤理事長、伊東副理事長出席（道電気会館） |
| 全日 | 道工業組合通常総代会に佐藤理事長、伊東副理事長出席（道電気会館） |
| 6月3日 | 第二種電気工事士試験（学科）準備講習会（組合会議室二八名受講） |
| 6日 | 函館関税会総会に佐藤理事長出席（五島軒） |
| 4日 | 中央会道南支部事務長会運営会議に佐藤事務局長出席（ホテル函館ロイヤル） |
| 5日 | 検満業者打合せ会議 |
| 10日 | 二級引込線工事士安全技能講習（北電旧資材管理所跡地二七八名受講） |
| 12日 | 六〇周年記念誌編集会議 |
| 17日 | 高所作業車運転技能講習技能（北電旧資材管理所跡地） |
| 18日 | 高所作業車運転技能講習技能（北電旧資材管理所跡地） |
| 19日 | 中央会道南支部事務長会総会に佐藤事務局長出席（ホテル函館ロイヤル） |

い　な　づ　94

24日	北桧山ブロック二級引込線工事士安全技能講習（大倉電気＝二〇名）
25日	道工業組合役員研修会・役員会に佐藤理事長、伊東副理事長出席（稚内市）
26日	組合・北電合同安全パトロール
27日	中渡島支部会議
7月1日	函館工業高校インターンシップ安全講習（工業高校四〇名）
2日	函館工業高校インターナンシップ現場実習（十三事業所三七名）
3日	検満業者打合せ会議
4日	全日 東支部会議
5日	第十六回大レクリエーション大会（グリーンピア大沼＝四六二名参加）
6日	全日 電工連互会運営委員会に佐藤理事長出席（全日電工連会館）
7日	建設業災害防止協議会函館支部理事会・総会に平沼理事出席（建設業会館）
8日	福島支部安全パトロール
9日	青年部シーケンサー講習会
10日	八雲支部安全大会（北電八雲営業所＝二七五名参加）
11日	八雲支部二級引込線工事士安全技能講習（館脇電気工業㈱＝二五名）
12日	道工業組合移動役員会・事務局長会議に佐藤理事長、伊東副理事長、佐藤事務局長出席（帯広市）
13日	第二種電気工事士試験（技能）準備講習会（組合会議室＝一七名受講）
14日	江差支部安全大会（北電江差営業所＝十八名参加）
15日	江差支部二級引込線工事士安全技能講習（北電江差営業所＝四名）

組合員の異動

函館工業高校電気科生徒インター
ンシップ現場実習受け入れを実施

本年度も函館工業高校より当組合に対し電気科生徒のインターインシップ受け入れの要請があり、当組合としても業界の将来の人材育成のため協力することになり組合員に受け入れの要請をしたところ、十三社から協力の申し入れがありました。七月一日～四日に電気科生徒三七名のインターインシップが実施され、初日は工業高校において現場実習に先立つ安全講話とヘルメット、服装等のチェックをし、二日～四日は二～四人ずつに分かれ組合員十三社の各現場で実習を行なった。インターレンシップは今後も毎年実施される予定になっており、この活動が生徒たちの勤労観や社会性の育成に役立ち、しいては当業界の将来を担う人材育成に繋がることを願います。

組合員の消息

平成二〇〇年
三月三〇日 牧電氣工事代表者ご尊父牧成勝殿
五月二八日 桑川村電氣商會代表者ご母堂川村主
逝去

29日	福島支部安全大会（北電福島営業所）
名参加	
29日	安全大会（組合会議室）
全日	（三三三名参加）
商工懇話会	「金融懇談会」に佐藤事務局長
出席	（ホテル函館ロイヤル）
31日	北海道電気安全大会に佐藤理事長出席（札幌共済ホール）
5日	検査業者打合せ会議
7日	道工業組合全国大会企画委員会に佐藤理事長

平成二〇〇年三月三〇日 牧電気工事代表者ご尊父牧成勝殿
五月二八日 株式会社電気商会代表者ご母堂川村主
逝去 三月三〇日 牧電気工事代表者ご尊父牧成勝殿
逝去 五月二八日 株式会社電気商会代表者ご母堂川村主

◎ 代表者の変遷
一、(有)阿部電気商
　　代表取締役
一、(有)工藤電気工
　　代表取締役
一、山崎電気商会
　　代表取締役
一、日興電気株
　　代表取締役

高会	(八雲支部)	(新)
阿部哲也	阿部貞夫	(旧)
（江差支部）	工藤勝仁	
（八雲支部）	工藤光子	
尾形勇吉	長崎 厚	
（中央支部）	林 一夫	
飯田孝次		

岩井電氣工業株
(新)
(旧)

◎ 一、脱退 (株)オーエスケー (東支部)
平成二〇年六月二七日

○樺電工業株
○株サンショウ工業
○株高橋電工
○株富岡電気工事
○北海電気工事株
○協同電気通信株
○三立電気株
○タマツ電機工業株
○日興電気株
○佐藤電氣工事株
○株新當電氣設備
○株対馬電設



函館地方電気工事協同組合通常総代会
議長は佐藤理事長より『平成二十年度通常総代会宣言』を提出された。出席して開催された。

午前十時開会宣言に次いで、佐藤理事長より『平成二十年度通常総代会宣言』を提出された。出席して開催された。

二十年度を迎えるにあたり、当組合を取り巻く経済環境は依然として厳しさが続いている。原油高に端を発した諸資材の高騰、サブプライムローンに影響された株価の下落など、景気の不透明感が更に増した一年だった。新幹線工事の着工による波及効果も期待していたほどでもなかつた。平成十九年度の取組みとしては、組合と深い関係にある北海道電力(株)との関係をより一層緊密にするため持株会を設立する事ができた。また業務拡大の取組みとして函館市の公衆街路灯だけでなく電気ロードヒーティングの維持管理業務も新規に委託される事になった。又、本日午後より組合創立六十周年記念式典を花びしホテルにて開催致しました。平成二十年度予算では昨年同様の緊縮予算で取り組み、徹底した組合運営のスリム化をはかった。組合員各位の一層の連帯と自助努力をお願いし、ご理解とご協力を期待する。旨の挨拶があつた。

統いて議長の選出により赤川支部の山下堅一氏(青函電気㈱)が選出され議事の審議に入つた。

第一号議案 平成十九年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書、および剰余金処分(案)について承認を求める件

第二号議案 第二号議案 平成二十年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)について承認を求める件

第三号議案 第三号議案 平成二十年度組合借入金残高の最高限度額の決定について

第四号議案 第四号議案 平成二十年度組合員に対する貸付け(手形の割引を含む)又は一組合員のためにする債務保証の残高の最高限度額決定について

第五号議案 第五号議案 平成二十年度一組合員に対する貸付け(手形の割引を含む)又は一組合員のためにする債務保証の残高の最高限度額決定について

第六号議案 第六号議案 平成二十年度組合員に対する貸付け(手形の割引を含む)又は一組合員のためにする債務保証の残高の最高限度額決定について

第七号議案 第七号議案 平成二十年度金限度額の決定について

第八号議案 第八号議案 平成二十年度定款の一部変更について

任期満了に伴う理事及び監事の改選について

以上の案件のうち第一号議案から第七号議案まで、質疑応答の後、全て満場一致の賛成により原案通り決議した。第八号議案についてはその選考方法を指名推薦の方法を採用することを承認の後、選考委員による指名推薦により理事及び監事は全員留任となつた。定款の一部変更の関係で正副理事長の決定は後日決定することになった。午前十一時二十五分、議長は総代会の閉会を宣言した。

第六十回通常総代会開催

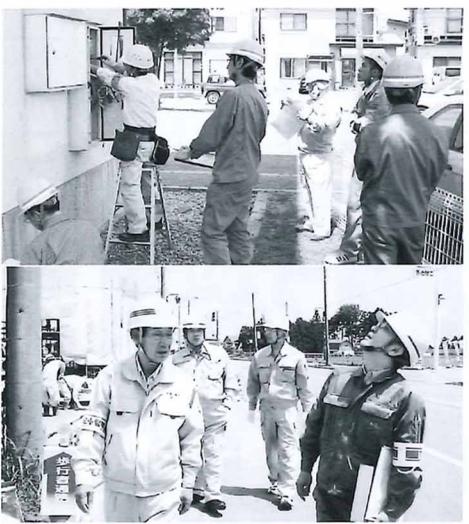
組合・北電合同 安全パトロール実施

二十年六月二十六日(木)、組合安全衛生委員会・北海道電力㈱函館支店合同安全パトロールを実施した。

組合三名、北電三名の六名が函館市内の低圧検満工事現場二箇所を巡回し、安全管理体制や工事施工に不備がないか詳細にチェックし、各現場の安全対策を確認した。

パトロール終了後組合事務所に戻り、今後の安全対策に役立てるため、パトロールの結果について意見交換を行った結果、おおむね良好との評価を得た。又、福島支部においても七月十五日(火)に、北電福島営業所との合同安全パトロールが知内町内二箇所で北電一名、組合四名の参加で実施された。

北海道電力㈱函館支店並びに福島営業所の皆様には、大変ご多忙の中ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。尚、組合安全衛生委員会では今後も郡部支部を含めパトロールを実施しますので、組合員の皆様におかれましては、適正な工事施工並びに安全管理体制の再確認をお願い申し上げます。



第十六回 大レクリエーション大会



恒例の「第十六回大レクリエーション大会」が七月六日(日)晴天のグリーンピア大沼において組合員・社員・家族など四百五十名が参加して盛大に開催され、親睦を深めあつた。

午前九時半に集合、予定通り十時に開会式となつた。青年部加賀部長の開会宣言につづいて、佐藤理事長の挨拶、来賓として北海道電力㈱函館支店中川営業部長、井田市議会議員に祝辞を頂いた。

北海道電力㈱の社員の皆様には、洞爺湖サミットの関係で待機が掛つてゐる中、ビールを飲むことが出来ないにもかかわらず参加していただきました。

プログラムにより、ラジオ体操、ジャンケン大会、○×ゲーム、借物競争、支部対抗綱引きの男性、女性の予選を行ない午前のプログラムを終了、昼食となつた。昼食は青年部員が準備した焼そば・焼とり・おで

んに加え昨年好評であつた“生ざるそば”を北海電気工事㈱谷口支店長グループが提供、参加者に大変喜ばれた。午後はビンゴ大会、女性椅子とりゲーム、子供達の綱引きとつづき、午前の予選を勝ち上がつた、綱引き男性の決勝は中央支部と八雲・福島・江差合同チームが対戦。中央支部が合同チームの四連覇を阻止し、久々の優勝となつた。女性決勝は赤川支部と中渡島支部で争われ、赤川支部チームが初優勝を飾つた。

最後に抽選会が行なわれ、一位と二位を北電社員の方が独占、大変な盛り上がりとなつた。

開会式では大会委員長の伊東副理事長が協賛各社、北海道電力㈱、メークー、商社、北海電気工事㈱谷口支店長他の方々にお礼を述べ、又毎年の事ながら青年部の皆様には大変ご苦労を掛けている事に感謝し、ねぎらいの言葉を最後に無事終了となつた。

八月の「電気使用安全月間」に合わせ、二十年度の安全大会が組合管内四ヶ所で開催された。

函館地区では組合三階大会議室にて七月二十九日に約百四十名が参加し、事故の根絶へ決意を新たにした。

佐藤理事長の挨拶では「安全をないがしろにして仕事はできないことは十分理解していると思うが、労働災害の絶無に向、一層の安全意識の高揚」と訴えた。

来賓の北海道電力㈱函館支店配電グループ佐藤邦弘リーダーは、ヒューマンエラー防止のための対策として4S(整理、整頓、清掃、清潔)活動を解説し、「労働災害の可能性を限りなくゼロに」と話された。

安全講話では、函館市消防本部救急課の水島浩一主査消防指令が当組合六十周年記念事業として、函館市に寄贈した、AED(自動体外式除細動器)の取扱いについて、モニターや映像を見ながら説明され、人工呼吸法では組合員に実体験の指導もした。

北電函館支店配電グループ対馬孝一氏が施工上の安全管理について解説、終わりに有松橋電気の松橋芳一専務が安全宣言を読み上げ閉会となつた。

又、八雲支部は七月十六日(二十七名)、江差支部が二十五日(十八名)、福島支部が二十八日(十三名)に、各北海道電力営業所において開催され、安全月間に向けて気持を引締めた。



平成二十年度 安全大会

第一種電気工事士定期講習実施

電気工事士法第四条の三の規定による第一種電気工事士定期講習が、独立行政法人製品評価技術基盤機構の主催により、四月十四日にベルクラシックにおいて開催され、一三三名が受講しました。

ご承知の通り、第一種電気工事士は五年毎の定期講習が義務づけられており、受講しない場合は法律に違反することになり、電気工事士法第四条第六項の規定により免状の返納を命ぜられることがありますので必ず受講するようご注意願います。

PCB廃棄物・PCB汚染物処理に関する説明会を開催

平成十三年に施工されたPCB特別処理法によるPCB廃棄物等の処理に関して対応に苦慮しておりますが、本年四月より日本環境安全事業㈱北海道事業所にてPCB処理事業が開始されました。この為当組合では、函館市環境部並びに日本環境安全事業㈱北海道事業所より講師を招いて四月二十二日当組合大會議室において説明会を開催しました。当日は組合員各社より五〇名が参加し、全員熱心に受講し、大変有意義な説明会となりました。

ご多忙の中、当研修会のためおいで頂きました講師の方々には厚くお礼を申し上げます。

第一種電気工事士試験受験準備講習会

平成二十年度の第二種電気工事士試験は、筆記が六月八日、技能が七月二十六日に実施された。

当組合ではこれに先立ち、恒例の受験準備講習会を左記の通り学科講習を四日間、技能講習を二日間開催した。

◎筆記講習 六月三日～六月六日（九時～十七時）

午後	午前	三日（火）	四日（水）	五日（木）	六日（金）
電気理論 （中田）	配電理論 （中田）	配線設計 （中田）	鑑別 （大鎌）		
電線材料 （酒井）	施工法 （酒井）	配線図 （酒井）	検査・法令 （大鎌）	練習問題 （酒井）	
単位作業（酒井・対馬・五十嵐）	単位作業（酒井・対馬・五十嵐）	二四日（木）	二五日（金）		
午後	午前				

◎技能講習 七月二四日～二五日（九時～十七時）

午後	午前	二四日（木）	二五日（金）



二級引込線工事士 安全技能講習

平成十七年度より引込線工事士の制度が改定になり、一級と二級に分類されました。従来の引込線工事士は二級引込線工事士となり低圧引込線工事及び低圧計測器工事が施工出来ます。一級引込線工事士は低圧引込線工事及び低圧計測器工事に加えメッシュセンジャー引込線工事、関連する間接活線工法による高圧充電部防護作業が施工出来ます。

又、工事士認定証に有効期限が明記され（発行日より満五年を迎えた年末まで）有効期限内に安全技能講習を受講しないと失効しますのでご注意願います。

本年度の安全技能講習は、二級が六月一〇日に北電旧資材管理所跡地で実施され、七十二名が学科講習と、模擬電柱を使用しての実技訓練を受講しました。

業務多忙の中、講師を務めて下さいました北電函館支店に厚くお礼申し上げます。

又、江差支部（四名受講）、八雲支部（四五名受講）においても北電営業所の協力を得て二級安全技能講習を実施しました。

講師の皆様には大変ご多忙のことろご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

受講者は筆記二八名、技能二七名で、国家試験の結果合格率は、筆記七〇・〇%（全国平均五四・四%）、技能八八・四%（全国平均六九・七%）でした。

講師の皆様には大変ご多忙のことろご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

講師各位
酒井 好一氏
(大鎌電気㈱)
対馬豊四郎氏
(㈱対馬電設)
五十嵐照夫氏
(㈲五稜郭カスガ)
大鎌 哲雄氏
中田 進氏

高所作業車運転技能講習実施

当組合と建設業労働災害防止協会北海道支部との共催による高所作業車運転技能講習を六月十七日・十八日の二日間に亘り実施致しました。従来は行く先ども作業車は、作業床の高さが一〇m以上の機械については、都道府県労働基準局長の指定する機関が行う技能講習を修了した者でなければ運転できないことになつております。

今年度も株アイチコーポレーションの協力を得て、学科講習を当組合会議室で、実技講習を北電函館支店資材管理所跡地で実施し、二十八名が受講しました。



支 部 だ よ り

赤川支部研修旅行

赤川支部はその時の財源状態にもよりますが平均二年に一度研修旅行を行っています。過去に行つたところを振り返ると、①青森市（ねぶた）、八戸市周辺観光（泊）、②洞爺ワインザーホテル、札幌市観光、千歳市アートレットモール・レラ（泊）、③津軽半島（竜飛、金木町、十三湖他）周遊（一泊）、④仙台市（秋保温泉）、山寺、最上川船下り、鶴岡市（二泊）、⑤草津温泉（群馬県観光）、日光東照宮と温泉（二泊）、⑥盛岡市、小岩井農場、田沢湖（プラトーホテル）（一泊）、⑦弘前

市（弘前周辺と市内観光）（一泊）となつており、平成十一年の「ねぶた」以来の研修旅行でした。

今年の旅行の企画は「下北半島と三陸リアス式海岸の二日間」と言うことで進めました。従来は行く先と予算を支部会議にはかり当支部独自のツアとして見積りを取つて進めていたのですが、今回は大手旅行会社の一般向け広告ツアを採用する事を支部会議で了承頂いて進めました。また前回の旅行から支部員奥様の参加もしており、今回も同じように募集し、ご夫婦八組あわせて計二十一名の参加がありました。今回の旅行の目玉は東日本フェリーで就航した「ナツチャーニン」乗船と、参加者の殆どが行つたことがないという「霧場・恐山」への参拝が興味をひいたところです。

六月二十一日午前八時の集合で東日本フェリーターミナルに十五分前に全員集合、一般参加者もあわせて四〇名が晴天での出発となりました。最初は大間行きフェリー乗船、船内での酒盛りとお喋りで盛り上がり、あつという間に大間港へ到着しました。バスに乗り換え一路佐井村へ、道すがら今時の風力発電のたくさんある風車が我々を迎えてくれました。佐井村漁港の物産館の前から遊覧船へ乗船、約三〇分程で下北半島の景勝地「仏ヶ浦」を洋上から見学しました。昔、青函連絡船から遠くに見えた白い崖の景色が、大きなスケールと迫力で色々な名前が付いた奇岩が目の前に広がり、しばし雄大な景色を楽しみました。昼食は海の食材定食と美味しいビールに舌鼓、佐井村の物産館での休憩の後、約一時間二〇分で「恐山」に到着しました。途中車窓からは函館山や戸井が手に取るよう間に近に見えました。また途中的国道沿いには原子力発電施設予定地、核燃料の貯蔵施設や再処理施設があり、バスガイドさんが施設の説明をしてくれました。「恐山」は行つたことのある人からの話で想像していたのと違ひ異様な雰囲気の所で、霧場という言葉のとおり亡くなつた人の靈が集まる場所にふさわしい感じがしました。言葉では説明できないので、この記事を見て興味を持たれた方は一度は行く観光地だと思います。

七月には例大祭があるとのことでした。バスは一路はまなすラインを南下、むつ市、野辺地、七戸を抜けて奥入瀬渓流を車窓から望み、本日の宿である十和田湖温泉「湖秀亭」に着きました。宿への手配で我々の個室を取り、コンパニオンは代役の奥様方でとても盛り上がり宴が終了しました。二日目参加の奥様が数名いらっしゃつて旧知の友のおつきあいをしている様子でした。温泉入浴で旅の疲れを癒し、次日に備え早く寝たと思います。

次の日はちょっと曇り、朝風呂と食事を済ませて二日目が始まりました。今日は宮古市まで行くのちよつと強行軍です。ホテル出発八時で三陸鉄道北リアス線の久慈駅まで、車窓の景色を見ながらバスガイドさんの説明を聞きながら約二時間、道の駅に寄りながらの旅なのでその都度トイレタイムで下車。ご当地物産の買い物ツアेに早変わりとなり、漬け物、農産物、地元生産品等々、奥様方の購買力にちょっと驚かされながら旅を続けました。三陸鉄道は旧JRが民営化になつた路線です。観光客向けて列車の内装を豪華にしてレトロ風に作つた車両に乗り「三陸鉄道海鮮弁当」を味わい四十五分の乗車で普代駅に到着しました。バスに変わりりアス式海岸の景勝地である「北山崎」と「淨土ヶ浜」の景色を堪能しました。この二ヶ所はとても良い景色でしたが、それ以外の場所は殆ど小さな漁村集落の築港のような海岸ばかりで函館の下海岸を走っているような感じがしました。



を抜けて東北自動車道インターに向け、またまた道の駅に寄りながらひた走り青森市のフェリー乗り場へ到着しました。アラ疲れたと思つたら今日は約五〇〇キロメートルもバスに乗った行程でした。

お土産でいっぱいになつた袋を持ち、東日本フェリードで就航した「ナッチャン・ワールド」へ乗船、自宅までの帰りが車なのでビールというわけにはゆかず、ロビーでコーヒーを飲みながら雑談をしている内に二時間の船旅で今回の研修旅行が終了しました。参加者各位のご協力により怪我もなく全員無事に帰郷できました。御礼申し上げます。(赤川支部長 大鎌哲雄 記)



追悼記

日興電気株式会社・代表取締役林一夫氏

夫氏は去る八月十五日、自宅にて急逝、五十八年の生涯を終えられました。病名は心筋梗塞と言うことで、糖尿病の薬を飲んでいたとは言え、前日まで普通に生活をしている中での、本当に突然の訃報に接し唯々驚くばかりであります。今この様に追悼記を書きながらも信じられず、何故と言う想いとともに半分は謂わばフイクションを書いている様な気持です。

林一夫氏は、昭和四十七年三月東海大学を卒業、四月に樺電工業㈱に入社、電気工事業界への第一歩を刻み営業マンとして活躍。昭和五十三年には奥様の美津子さんと結婚され、一男二女の子供さんにも恵まれました。その後昭和五十九年十二月に日興電気㈱に入社しました。その後昭和六十三年六月に代表取締役に就任されました。優秀な社員にも恵まれ、その技術力と、良心的な仕事で着実に業績を伸ばし、業界の指導者としても卓越

編集後記

伊東研一

奥様で発展に努力されることを信ずるところです。本当に廻りを明るくする人でした。本人は落ちこんでいる時でも、それは同じでした。これからと言う時にひとつ太陽が落ち、故人にとりましても誠に無念の想いが強いかもしれません。我々にとりましても、寂寥感ひと致しますが、故人の生前の功績を偲び心よりご冥福を祈念しつつ追悼記といたします。

合掌

今年の夏も終わろうとしています。函館地方の最高気温は五年ぶりに三〇度以上の真夏日はゼロになりそうで、管内では厚沢部町鶴で三〇度を一日だけ記録したのみだそうです。しかし七月の気温が高めであったために、夏期(六月～八月)の平均気温は平年より〇・二度高めで、日照時間は平年並み、降水量も平年並みだそうです。台風もなし、大雨もなしと平穡に夏が終

した手腕を發揮され、組合においては平成二年五月に監事に就任、平成八年五月には理事、平成十四年五月からは中央支部長も兼任、電気工事業界並びに組合の発展に多大な貢献をされました。

「いなづま」では毎年港まつりの記事を担当されていましたが、今年は「ワッショイはこだて」のパレードも予定日が中止となり、記事もありません。林さん安心して下さい。

本年五月に開催した当組合六〇周年記念式典では、

その運営に中心的役割を果たし、成功裏に終了することができました。

平成二十二年には函館市において、全日本電気工業全国大会が開催されることが決定しております。この様な時に、中心的活躍を担つていただかなければならぬ人を失い、組合にとつて大きな損失であると言わざるを得ません。

また社業の方も故人の意思をついで、残された社員と

奥様で発展に努力されることを信ずるところです。

本当に廻りを明るくする人でした。本人は落ちこんでいる時でも、それは同じでした。これからと言う時にひとつ太陽が落ち、故人にとりましても誠に無念の想いが強いかもしれません。我々にとりましても、寂寥感ひと致しますが、故人の生前の功績を偲び心よりご冥福を祈念しつつ追悼記といたします。

合掌

伊東研一

日本とは違う文化を持ち、違う政治体制があり、全く違う国民であり、国民性も大きく違うのであれば、あまり批判的に報道することは避けた方が良いのではないかでしょうか。と言つても弁護するつもりはありませんが!! 大会は過去最多の二百四ヶ国が参加、日本も史上最多の五百七十六人の選手団を送り込み、目標としていたメダル数には少しだりなかつた様ですが、金9、銀6、銅10で総数25個のメダルを獲得、選手はよく頑張つたと思います。中でも一番印象的なメダルは陸上男子四百Mリレー、陸上短距離での銅メダル、多少のラッキーな面はありましたが、ラッキー・アンラッキーも勝負のうちですので、本当にすばらしいと思います。

全体的にはアテネ世代の頑張り、連覇が多かつた様ですが、次回ロンドン大会に向けては世代交代を急がなければならぬ種目も多くなると思われます。北京オリンピックは国威発揚と大国のメンツが表面に出すぎたと思いますが、今後はスポーツの祭典で世界平和に貢献する、そんなオリンピックになる様、一度期待したいと思います。

あしたの光で “*じいわよい*” を創ります。

東芝ライテック株式会社

北海道電材営業部函館営業所

040-0025
函館市堀川町二十七番十三号

松下電工株式会社

北海道電材營業部
函館電材出張所

National

人とあかりの調和を考える

大光電機株式会社

函館營業所

札幌支店
TEL 06-220-9720

DAIKO

河村電器産業株式会社

北海道支店函館駐在所



北海道支店

041-0811
 003-10006
 FAX(0一三八)四四一七四五三六
 TEL(0一三八)四四一七四五三七
 札幌市白石区東札幌六条一丁目二一三
 札幌三信物流ビル四階
 FAX(0一一)八二二一五三一一〇五〇四

ISHIGAKI
石垣電材株式会社 ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス

本社060-0006

函館支店
041-310408

札幌市中央区北六条西一三丁目一番地
函館市西桔梗町五八九番地三一五
二海郡八雲町内浦町二三四一五
（〇三七）六三一三二六九番地

未来環境を語る・造る

株式会社
工三
セ

函館營業所

041-0811-4330-177
函館市富岡町二丁目四
電話番号
（代表）

情報社会をパフォーマンスする

田中商事株式会社

函館營業所

函館市亀田町十三番八号
電話四〇一〇八〇〇
本社・東京
営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合知

株式会社
新光照明